普及活動情勢報告（令和元年 12 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

中山間地の農業生産基盤に関する課題の共有　～農業用水取水の現状を見学～

地元の説明を受けている様子

山間部のほとんどの圃場は、水の確保に苦労しており、谷の湧き水などから自分たちでパイプなどを使って取水しています。しかし、近年受益者の減少や施設・資材の老朽化に伴い、徐々に維持管理が困難になってきています。

そこで11月21日、農業用水にかかる現地課題の共有のために、当課と基盤整備課合同で椙原町・津野町の3カ所の農業用水の取水現場を見学しました。その結果、農地を守るための基盤作りのためには区画整理以外にも解決すべき問題があることを認識することができました。

これからも地元農家から情報収集するとともに現地課題の速やかな解決のために、両課で協力して取り組んでいきます。

厳寒期に向けての栽培管理の徹底　～ＪＡ土佐くろしおハウスシシトウ部会現地検討会を開催～

説明を熱心に聞いている様子

11月25日、ＪＡ土佐くろしおハウスシシトウ部会が現地検討会を開催し、生産者22人が参加しました。

ＪＡは生育調査に基づく着果バランスの重要性を、当課は今作の天候と生育状況、厳寒期に向けての栽培管理や昨年度の新品種の調査結果を説明しました。

参加者からは、新品種の生育等の特性や病気発生に対する防除方法、今作の生育状況とポイントとなる管理等の質問が出されました。また、生育状況を見ながら生産者同士で意見交換を行うことができ、有意義な会となりました。

当課は、今後もＪＡと連携して、シシトウの収量アップ・品質向上に向けて支援を行います。

集落営農の取り組みについて理解を深めるために　～津野町集落営農塾の開催～

代表者の説明に耳を傾ける

12月3日、津野町役場主催で集落営農塾「組織化編・ステップアップ編」が開催され、津野町の中山間直払組織や集落営農組織のメンバーら20名が参加しました。当課は、開催支援と参加者の呼びかけを行いました。

「集落営農組織（法人）設立」をテーマに、愛媛県東温市の「農事組合法人 アグリすのうち」から講演をいただきました。法人設立までに何度も話し合いや研修を重ねたこと、地元の米をブランド化する取り組みなど、参加者が多くのことを学べる機会になりました。

今回の集落営農塾などをきっかけに、集落営農に興味のある集落がないか確認し、関係機関とともに積極的に集落を訪ね、推進を図ります。

高品質の維持を目指して　～インゲン部会目慣らし会の開催～

選別状況を確認している様子

ＪＡ土佐くろしおインゲン部会において、12月6日・11日に３出荷場で、計16人の生産者が参加し、目慣らし会が行われました。

ＪＡからは、選別の徹底、市況概況、保温などの栽培管理について周知しました。当課からは、灰色かび病対策、環境測定装置と炭酸ガスの導入事例について情報提供しました。

生産者からは、インゲンでの炭酸ガスの導入事例を見て、温度管理や増収効果について質問があり、環境制御技術への関心が伺えました。

当課は、収量・品質の向上と省力化を目指して、今後もＩＰＭや環境制御技術、仕立て方法について調査を行い、巡回や現地検討会などで情報提供するとともに技術の普及を推進します。

キュウリの安定生産に向けて　～現地検討会を開催～

説明を聞く生産者

12月10日、須崎市内現地圃場でキュウリの生産者16名が参加し、環境制御技術、ＩＰＭ技術の現地検討会を開催しました。当課からは、環境制御技術の基礎である「見える化」についてメリットや栽培への活かし方と実証試験の途中経過等について説明しました。

生産者には、環境測定装置を設置することで、最低最高温度計では見えない温度変化や推移、湿度が数字で把握でき、それを天窓の開閉等の管理に活かせることが理解されました。また、ハウス周辺の雑草でミナミキイロアザミウマの生息が確認されたことを伝え、周辺雑草の除草の大切さも理解されました。

当課は、今後もキュウリの安定生産に向けて現地検討会や勉強会を通じて、農家のレベルアップに繋げていきます。

環境制御技術について理解を深めよう　～　須崎地区環境制御技術講演会を開催　～

講師の話に聞き入る参加者

12月18日、ＪＡ土佐くろしお本所で、須崎農業振興センター主催の須崎地区環境制御技術講演会を開催し、生産者や関係者等５９名の参加がありました。

まず始めに農業イノベーション推進課から「Next次世代型施設園芸の取り組み」として、ＩｏＰやアイファームクラウドの説明があり、講演会ではデジタルハリウッド大学の太場氏から「次世代農業ＩｏＴの実践と事例について」の講演がありました。

参加者は、講演を熱心に聞いており、アンケートでは「わかりやすかった」、「大変参考になった」などの感想がありました。

当課は、今後もＪＡと連携して、環境制御技術の普及・啓発に向けた支援を行います。